

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2025年 1月16日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I : 該当なし

区分 II : 該当なし

区分 III : 該当なし

その他: 6 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	換気空調系非常用ディーゼル発電設備(B)室送風機(A)の電動機において、点検に伴う電動機ケーシング(羽根車収容外装)の開放時、パッキンに割れが認められたため、当該パッキンを交換。 なお、送風機(B)は運転可能であり、換気機能に影響はない。	GⅢ	1月15日
2	2号機	換気空調系中央制御室冷凍機(A)警報用回路の電源(配線用しゃ断器)において、点検に伴う隔離操作時に「切」にできないことが認められたため、当該しゃ断器を交換。	GⅢ	1月14日
3	3号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ・原子炉建屋低電導度廃液サンプ冷却器(A)入口弁において、点検に伴う隔離操作時にシート部に漏えいが認められたため、当該弁を点検・修理。	GⅢ	1月10日
4	3号機	燃料プール冷却浄化系冷却水ポンプ(B)入口圧力発信器において、点検中に指示値不良(計器精度外れ)が認められたため、当該圧力発信器を交換。	GⅢ	1月10日
5	4号機	非常用ディーゼル発電設備(B)潤滑油系潤滑油加熱器温度検出スイッチにおいて、点検中の動作確認にて動作不良(設定温度にて接点が動作しなかった)が認められたため、当該温度検出スイッチを交換。	GⅢ	1月14日
6	その他	圧力抑制室水排水系サージポンプ室に設置している管理区域境界集積線量計1台において、計数回路不良が認められたため、当該集積線量計を交換。 なお、手動測定により当該エリアの線量上昇がないこと及び当該集積線量計の測定期間において線量の上昇を伴う作業がないことを確認した。 また、本件は測定した集積線量データの採取後に発生したものであり、データの欠測はなかった。	GⅢ	1月14日